



適用事例9

土地家屋調査士の測量にVRS観測を利用

登記doあかいし

■現状

9年前からGPSスタティック測量を始めましたが、4年前よりVRS観測に移行しています。

土地分筆登記、地積更正登記に係わる一筆地の測量に多角点を設ける時にVRS観測した座標値を採用しています。現場ごとに月平均4～5回観測し、1回あたりの観測時間は30分以内です。

■測量結果

当事務所の地区には1級基準点(旧日本測地系)が8点あり、過去はこの基準点からGPSスタティック観測を行っていた。この点をVRS観測した結果と比較して、旧日本測地系座標をTKY2JGDによる座標変換では、座標の位置差が最大15cm、VRSによる同一点5回観測では平均位置差は最大2cmであった。

